

29. 友人宅を辞去する [1] [2]

001A : アララ ズイブン ジカン タッタワネ。(B オッ) タイシタヨーモ
あらら ずいぶん 時間 経ったわね。(B おっ) たいした用も

ナイノニ ナガイステシマッタ。
ないのに 長居してしまった。

002B : アー モー コンナジカンガワ。シーダネ。
あー もう こんな時間かよ。 そうだね。

003A : ンダワネ。(B ウン) バンカタ ナツカラ。
そうだわね。(B うん) 晩[に] なるから。

004B : ン ジャーネ。
それ じゃあね。

005A : ドーモネ {テーブルの上で茶托を寄せる音} (B ハイ) ゴツツオーサンネ。
どうもね {テーブルの上で茶托を寄せる音} (B はい) ごちそう さまね。

006B : ハイ。アイッタ (A ハーイ) ハヤク カエッテ バンゲノヨーイ シッ セワ。
はい。あれだ (A はい) 早く 帰って 夕飯の用意 しなさいよ
。

007A : ハーイハイ。ドーモドーモ。
はいはい。 どうもどうも。

008B : ンジャーネ。ウン。(A マタ) トーチャン カエッテクルッコロダツチャワ。
それじゃあね。うん。(A また) 父ちゃん 帰ってくる頃だろうよ。

009A : ンダヨワ、モー。(B ウン) ハヤグ カエンネド。(B ハイ) ゴハンノヨーイ
そうだよ、もう。(B うん) 早く 帰らないと。(B はい) ご飯の用意

オソグナツカラ。
遅くなるから。

010B : ンデ アド バンシャグ、バンシャグノヨーイシテ マッテサインワ。
それで[は] あと 晩酌、 晩酌の用意して 待ってなさいよ。

011A : ハイ ドーモー。{玄関の戸を開ける音}
はい どうも。 {玄関の戸を開ける音}

012B : ハイ。
はい。

013A : マタネー。
またね。

014B : ハイ ドーモ アリ ガドネー。
はい どうも あり がとうね。

015A : ゴチソーサマー。
ごちそうさま。

016B : ハーイ。{玄関の戸を閉める音}
はい。 {玄関の戸を閉める音}

[1] 29. 友人宅を辞去する

会話集1「61. 友人宅を辞去する」の再録。詳細は解説4.3を参照。

[2] 29. 友人宅を辞去する

話者宅の玄関で実際に動きながら収録した場面であるため、会話の途中で足音や時計の音が入っている。この場面ではAとBの間に配置した録音機の音声を採用している。AとBが家の中でテーブルについているところから、Aが玄関を出て戸を閉めるまでを演じていただいた。